

ブドウ新品種「シャインマスカット」の福岡県における特性					
[要約]ブドウ新品種「シャインマスカット」は、黄緑色でマスカット香を有し、果肉が崩壊性で硬く、食味が優れた「巨峰」とほぼ同時期に成熟する品種であり、外観、食味とも「巨峰」とは異なるタイプの品種として本県の施設栽培に導入できる。					
担当部署	果樹部・果樹育種チーム			連絡先	092-922-4946
対象作目	果 樹	専門項目	育 種	成果分類	品種選抜

[背景・ねらい]

本県のブドウは「巨峰」主体の品種構成であるが、消費者のニーズが多様化する中で、食味が優れ、「巨峰」と異なった外観や品質を有する品種が望まれている。そこで、(独)農業技術研究機構果樹研究所において育成され、ブドウ第9回系統適応性検定試験に供試された生食用ブドウ系統について本県における栽培適応性を検定し、優良な系統を選抜する。

ブドウ新品種「シャインマスカット」は昭和63年に果樹試験場安芸津支場(現 独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所ブドウ・カキ研究部)において「ブドウ安芸津21号」に「白南」を交雑して育成された二倍体品種であり、ブドウ第9回系適試験に「ブドウ安芸津23号」として供試された。

[成果の内容・特徴]

1. 「シャインマスカット」は樹勢が強く、樹冠の拡大は速やかである。また、花振るいが少なく結実良好である。開花期は「巨峰」よりやや遅いが成熟期はほぼ同時期である(表1、2、一部データ略)。
2. 果粒重は9~10gで「巨峰」より小さいが、果肉は崩壊性で硬く、マスカット香を有する。糖度は18度で「巨峰」と同程度に高く、酸度がやや低く、食味は良好である。はく皮性は良くないが、果皮が薄く渋みも無く、皮のまま食べることができる。日持ち性は5日程度の中で「巨峰」より良い(表1、2、一部データ略)。
3. 花穂の着生は比較的良好で短梢せん定(2芽せん定)で栽培できる(データ略)。

[成果の活用面・留意点]

1. 福岡県ブドウ推奨品種選定の資料として活用できる。
2. 「シャインマスカット」は黒とう病に弱いため、雨よけ以上の施設栽培を行う必要がある。

[結果の概要]

表1 「シャインマスカット」の福岡県における特性（平成14、15年）

品 種	樹勢	果房形	果粒形	果皮色	はく皮の難易	脱粒性	果肉特性	果肉硬度	香 気	含核数	日持ち性
シャインマスカット	強	円錐	短楕円	黄緑	やや難	中	崩壊性	硬	マスカット	1.8	中
巨峰	強	円錐	短楕円	紫黒	中	容易	中間	中	フォクシー	1.7	短

注) 日持ち性は常温における商品性を維持している期間で、短は収穫後 3日、中は収穫後 5日、長は 7日程度を示している。

表2 「シャインマスカット」の生育および果実品質（平成14、15年 福岡農総試）

品 種	調査年	開花期	花振るい	収穫期	果房重	果粒重	裂果	糖度	酸含量
シャインマスカット	2002	5.28	少	9.13	419	9.0	極少	18.2	0.32
	2003	5.28	少	9.11	384	10.4	中	18.1	0.29
巨峰	2002	5.21	中	9.13	347	13.5	極少	18.0	0.44
	2003	5.24	多	9.11	334	13.6	中	18.9	0.46

注) 1. 雨よけ施設栽培、長梢剪定自由整枝（3月中旬ビニル被覆、7月上旬除去）
2. 樹齢はいずれの品種も平成15年で 6年生。

[その他]

研究課題名：ブドウ第9回系統適応性検定試験

予算区分：経常

研究期間：平成14年度（平成11～14年）

研究担当者：平川信之、藤島宏之、浦広幸、白石美樹夫、井樋昭宏

発表論文等：平成11～14年度果樹関係試験成績書